



杉並和泉学園の通学区域について

平成 27 年 4 月開校予定の（仮称）杉並和泉学園（新泉・和泉地区小中一貫教育校）の通学区域について、以下のとおり整理し、学校関係者及び地域関係者等の意見を伺い、いただいた意見を踏まえ検討します。

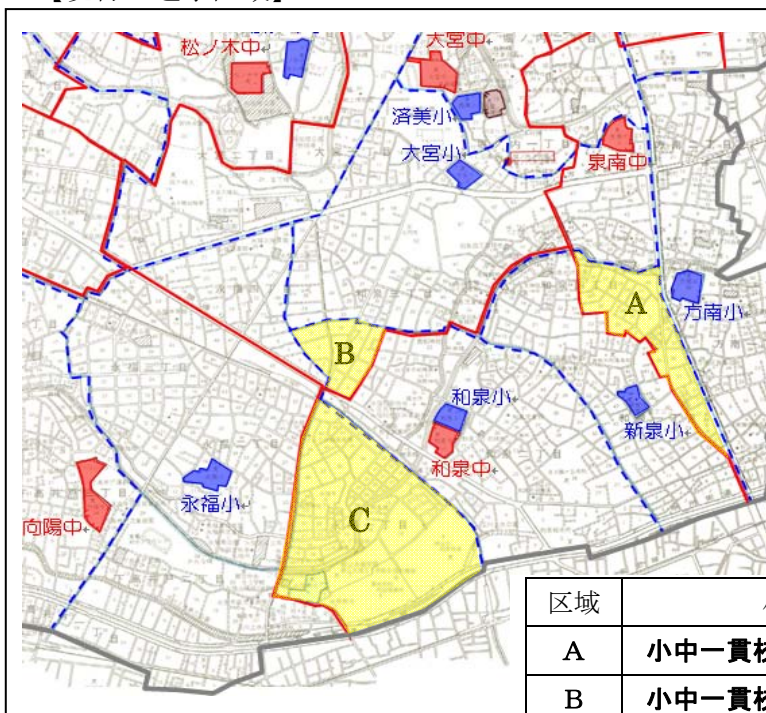
1 施設一体型の通学区域の基本的な考え方

小中一貫教育の効果が最大限に発揮できるよう、小学部と中学部の整合性を図る方向で、通学路の安全性や通学距離なども考慮に入れ検討します。

2 通学区域の対応（案）

- ・ 通学区域を再編する場合、保護者や地域から十分な理解が不可欠であることから、開校後一定期間を設け、段階的に行います。
※一定期間：平成 33 年度を目途とします。
- ・ 一定期間中は、小学校と中学校の通学区域に差異がある地域を「調整区域」として定め、小中一貫教育校と隣接する小中一貫教育の組合せ校から就学先を選択できることとします。
- ・ 一定期間中の入学状況を検証して、改めて学校関係者及び地域関係者と十分な情報交換を図り、杉並和泉学園小学部と中学部の通学区域を一致させる方向で検討します。

【現行の通学区域】



通学区域で違いのある地域

- A・B: 小中一貫教育校小学部の通学区域ではあるが、中学校が異なる地域
- C: 小中一貫教育校中学部の通学区域ではあるが、小学校が異なる地域

就学人口 (H25.5.1 現在) 【単位:人】

区域	児童数	生徒数
A	53	30
B	23	11
C	129	68

区域	小学校	中学校
A	小中一貫校小学部、方南小	小中一貫校中学部、泉南中
B	小中一貫校小学部、大宮小	小中一貫校中学部、大宮中
C	小中一貫校小学部、永福小	小中一貫校中学部、向陽中

※ゴシック体の学校は、現在の就学指定校を表しています。